

白岡市中学校生徒の自転車通学に関する意見交換会 まとめ

令和5年10月実施の保護者対象アンケート結果（抜粋）

- (1) 自転車通学について、考えが一番近いものをお選びください
- | | |
|---------------------|-----|
| 「自転車通学を強く希望する」 | 18% |
| 「自転車通学が可能ならば希望する」 | 38% |
| 「これまで通り徒歩で良い」 | 36% |
| 「わからない（どちらか決められない）」 | 8% |
- (2) 自転車通学に賛成する方の主な賛成理由（賛成は全部で520世帯）
- | | |
|---------------------------|-------|
| 「登下校の時間が短くなり、暑さ寒さの影響が少ない」 | 453世帯 |
| 「重い荷物を運ぶのが楽になる」 | 439世帯 |
- (3) 自転車通学に反対する方の主な反対理由（反対は全部で332世帯）
- | | |
|----------------------|-------|
| 「徒歩で不便はない」 | 218世帯 |
| 「自転車と比べて、交通事故にあいにくい」 | 190世帯 |

意見交換会 会員の主な意見

- ・安全指導の面で、教職員の負担増加が心配である
- ・交通ルールやヘルメットの着用など、守れていない子供が多い。しっかり指導する必要がある
- ・登校時間が小学生と重なることから、狭い道での接触が心配である
- ・道路の整備は対応が難しい
- ・一部の学校だけ実験的に行うということは、するべきではない
- ・夏休みの部活や、暗くなるのが早くなる時期など、限定して許可するのも良いのではないか
- ・実現に向けては、学校運営協議会や保護者、PTAの力添えが必要である
- ・アンケートの結果と現場での声には相違があることから、話し合いを続けていく必要がある

事務局から

- ・アンケート結果から、自転車通学を望む声の大きさが明らかとなりました。
- ・現在の道路状況や登下校の環境を考えると、意見交換会の会員の多くが述べていたように、児童生徒の安全確保に努め、命を守ることが何よりも大切なことであると考えます。
- ・現在の学校・家庭・地域の連携により、大きな交通事故が比較的少ない白岡市の登下校の環境は、誇るべきものとして今後も大切にしていきたいと考えています。
- ・一方で、熱中症の危険性や不審者に遭遇する不安、重い荷物を持って登下校する児童生徒の負担の解消は、喫緊の課題であると捉えています。解消に向けて、関係機関と連携を図りながら、全力で取り組んでまいります。
- ・特に、学校の安全指導については、警察の協力も得ながら、教育委員会と教職員が連携し、一層の充実を図ってまいります。
- ・自転車通学の実施については、保護者、地域の声に耳を傾けながら、各学区の道路状況に合わせて、児童生徒の安全を第一に、教育委員会と学校で今後も検討を進めてまいります。